

山行報告

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 鈴木正範

山名	京都北山 雲取山	山行名	京都労山女性員会主催
ルート	花背高原ー寺山峠ー(尾根)ーハカタリ峠(12:00-12:30)ー花背高原		
山行日	2月17日(日)	天候	曇り時々霽雨
参加者	洛中3名 西山1名 山友会2名(三宅、鈴木) 合計: 6名		

山行報告

雲取山山行の京都労山ニュースを見て行ってみたいなという気持ちに駆られ参加申し込みをした。労山の女性委員会主催だが男性も歓迎されると聞いていたの参加だ。雲取は何十年ぶりか？ 以前はよく通った山で、冬は頂上で雪見宴会をしたものである。

山友会の三宅さんも参加されると聞いて楽しくなりそうで期待が膨らむ。

2日前ぐらいから雪模様で心配したが当日は曇り空、午後から晴れると聞いていたがそれは街中のこと。山は霽雨っぽい雪が時々降り掛かるが気になるほどではなかった。

京都バスは雲ヶ畑行きも、坊村行きも昨年廃止となり、広河原行きだけになった。坊村行きはこの春から土曜日曜のみ運行とか。この日はハイカーの団体があり臨時が2台も出るくらいの登山者、人、人。ほとんどは花背まで下車。花背での雪遊び 鞍馬尾根に下る人もいたらしい。

途中、バスは貴船でチェーンを装着。花背の坂で立ち往生していた車をバスの乗客が降りて脇に押しやるというハプニングもあった。滑って踏ん張れずアイゼンをつけに戻ってきた人がいるくらい凍っていた。バスの乗客がいなかったら長蛇の列で渋滞したであろう。

何やかんやで到着が1時間弱遅れたがメンバー全員が1台目に乗っていたこともあり先頭を歩くことになる。寺山峠でワカンを装着。ここから尾根伝いに先日の雪でトレースが消えたルートを探しながら交代々々でトップに行く。雪が多く5分も行くと息が上がってしまう。後から子供づれの家族がトレースをたどりながら付いてくる程度 他の山人はどのコースを取っているんだろう？

雪をかぶった北山杉もさることながら、時折見える青空と枯れ木に咲かせている雪景色、その梢の合間から日の光で輝く様はやっぱりすばらしい。雪山は良いな～

この尾根歩きのコースは見晴らしも景色も良くて気持ちがいいルートだ。ルートを探しながらの山行で帰りのバスの時間(14:50)も気になり雲取峠の手前のハカタリ峠で行動食、Uターンとした。

途中雪穴にはまり込みワカンが引っかかり片足が抜け出せないで靴を脱いで脱出するというハプニングがあり、どうしてそうなったのか聞いてみたいところだ。自分の山行きでも起こりうる事象だなど思った。穴にはまってからの状況の把握、チームの連携が悪かったかな？

来冬も行ってみたい楽しい山行きでした。

京都労山の計画の山はしんどいとかきついか、難しいとか良く耳にしますが、このような山行やハイキング委員会の山などは山の入門として面白いと思います。

興味のある方は労山部徳田さんに連絡ください。